

2018年4月、文化言語学部文化言語学科から、現代文化学部文化コミュニケーション学科へ

高度な日本語運用力及び多様な文化と社会に関する知識を身に付けた上で、高度情報化とグローバル化が進む日本社会に貢献できる人材を育成します。

興味のある分野と希望する進路・学びに応じて、「情報メディア文化」「観光文化」「日本・東アジア社会文化」「文芸文化」の4つの領域から2つを組み合わせ、「文化」に関する専門的な能力を育成します。

チームワークを活かして、他者と協働的に問題を解決する能力を育成します。

すべての学びの基礎となる日本語運用力と実践的な外国語運用力を育成します。



《設置概要》 ■名称/現代文化学部 文化コミュニケーション学科 ■修業年限/4年 ■開設時期/2018(平成30)年4月 ■入学定員/75名 ■取容定員/300名(75名×4学年) ■取得学位/学士(文学) ■設置場所/尚綱大学武蔵ヶ丘キャンパス(熊本県菊池郡菊陽町武蔵ヶ丘北2丁目8-1)

平成28年熊本地震に伴う本学園の復旧工事は、平成29年度中に完了予定

昨年4月14日、16日に発生した熊本地震及び度重なる余震に伴い、本学園の施設設備に甚大な損害が発生し、約3ヶ月にわたり被災状況調査を実施しました。その後、順次復旧工事を行っており、すべての復旧工事が今年度中に完了する予定です。



九品寺キャンパスは平成29年12月完了予定。武蔵ヶ丘キャンパスは平成30年3月完了予定。

平成30年4月より尚綱シャトルバス運行開始予定!! **料金無料**

- 九品寺キャンパスと武蔵ヶ丘キャンパス間の往復
 - 両キャンパスと最寄駅の往復
 - 登下校の送迎(北部ルート・南部ルート)
 - 授業・講義での送迎
 - 部活動・クラブ活動での送迎
- ※停車する場所等は随時見直し予定です ※乗車には一定の条件があります



学校法人尚綱学園 熊本地震復興支援募金について

学校法人尚綱学園熊本地震復興支援募金受け入れについてのご報告

このたびの平成28年4月14日以降に発生した地震により、数多くの皆様にご心配をいただき、お見舞いと激励のお言葉並びにご支援のお申し出を頂戴し、心より御礼申し上げます。

熊本地震で被災した本学園の学生・生徒・園児への就学支援や、校舎等の修復といった教育・研究環境の原状回復等を目的として開始しました『学校法人尚綱学園 熊本地震復興支援募金』に対し、数多くの皆さまから温かいご支援を賜りました。平成29年11月15日までにお寄せいただいた支援募金についてご報告申し上げます。

なお、今後も就学支援や復興活動費用として継続して活用させていただきたく、引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

○支援募金総額・・・18,798,904円(47件) (平成29年11月15日現在)

〈支援募金 問い合わせ先〉 学校法人尚綱学園 学園事務局総務部経理課(平日9:00~17:00)

〒862-8678 熊本市中央区九品寺2丁目6-78 TEL.096-364-0116 FAX.096-363-6520 E-mail:keiri@shokei-gakuen.ac.jp

尚綱大学 尚綱大学短期大学部

尚綱地域連携推進センター

地域住民との交流による学びの実践

本学が包括連携協定を締結している菊陽町と文化言語学部が長年連携している大津町の夏祭りに参画しました。参加者としてではなく、祭りの運営側に関わることで、地域の課題を探究し、地域における自分を俯瞰することを目標に行いました。武蔵ヶ丘キャンパス近隣校区の定例会議の話し合いがきっかけとなり行われた「虹の森地区の夏祭り」では、美術部の学生達の作品展示や様々な出し物を披露するなどして地域住民の方々から好評を博しました。また、今年で4回目の取り組みとなる「大津町の地蔵祭り」では授業と連携し、東熊本青年会議所が運営する「お化け屋敷」のサポートを行い、熊本の地域理解につながりました。



尚綱食育研究センター

熊本元気塾講演会

熊本元気塾は熊本市、熊本流通団地協同組合、公益社団法人熊本法人会の共催で開催され、平成29年8月に尚綱食育研究センター運営委員2名が講演を行いました。

第一部 尚綱大学生生活科学部准教授川上育代担当、演題は「『おいしさ』を科学する～生存に欠かせぬ感覚=味覚～」、第二部 尚綱大学短期大学部講師秋吉澄子担当、演題は「どちらを選ぶ?～食べたいものと健康に良いもの～」でした。

幼児期から高齢者までの食育に関する情報に熱心に耳を傾けてくださった市民の皆様の意識の高さを感じることができ、尚綱食育研究センター活動の励みとなりました。



「NHK公開復興サポート明日へin熊本」が本学園キャンパスで開催されました



平成29年10月15日(日)にNHKの番組やイベントを公開収録する「NHK公開復興サポート明日へin熊本」が、本学園九品寺キャンパスにて開催されました。

当日は雨にもかかわらず、3,684名の方に来場いただき、番組収録観覧等、多彩なイベントにご参加いただきました。来場いただきました皆さまに御礼申し上げます。



尚綱ボランティア支援センター

「みやぎ招へいプログラム」に参加しました

大きな災害等を体験した熊本・兵庫・福岡と宮城の学生ボランティアが交流し、助け合うことで「今後の復興およびまちづくり」の担い手を育てるための機会とすることなどを目的とした「みやぎ招へいプログラム」が11月2日から3日間、東北学院大学(仙台市)をメイン会場に行われました。

本学短期大学部総合生活学科1年の嘉来うらんさん、松野はるかさんの2名が参加し、「各大学活動報告」「石巻復興ワークショップ」「南三陸町視察」等の交流プログラムを体験しました。



尚綱子育て研究センター

保育の向上にむけた学び合いをしています!



公開シンポジウム講演講師の今井和子先生 多くの皆様にご参加いただき大盛況でした!

尚綱子育て研究センターでは、保育現場のみなさんとともに共同研究を通して学び合いの場をつくっています。8月6日(日)に行われた第17回公開シンポジウムでは、講師の今井和子先生(子どもことば研究会代表・元立教女学院短期大学教授)をお迎えし、0,1,2歳児の保育をテーマに284名のみなさんと学び合うことができました。

また、毎月、定例で乳児保育研究会を開催しています。今年度は、食事・睡眠・排泄・遊びの各テーマにそって実践報告をしていただき、共同研究を行っています。メンバーのみなさんは、この成果をすぐに保育に活かして実践を深めていってまいります。今後も、保育の向上にむけて楽しく学び合える場を提供し続けていきたいと思っております。



毎月、乳児保育研究会を開催しています。